



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 イートアンド株式会社

コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 文野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 日永 光

TEL 03-6402-3961

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,516	—	273	—	248	—	59	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 69百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	13.51	13.45
28年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の数値および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第2四半期	12,551	—	4,660	—	37.1	
28年3月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 4,653百万円 28年3月期 1百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,280	—	627	—	627	—	274	—	61.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	4,433,345 株	28年3月期	4,433,345 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	358 株	28年3月期	358 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,432,987 株	28年3月期2Q	4,395,530 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループ（当社および当社の関係会社）は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期の数値およびこれに係る対前年同四半期増減率ならびに前期末の数値との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、人手不足を背景に雇用情勢が堅調に推移するなど持ち直しの機運を示す一方、海外の景気が一進一退を繰り返しているため円高局面が続いており、輸出が今一つ振るわないことから、全体としてはなお踊り場の状態が続いております。

一般の消費生活におきましては、雇用情勢の堅調な推移を受けて所得がごく緩やかながら伸びを示す一方、その伸びが鈍いことからくる先行きへの不安は根強く、また台風が相次いで上陸するなどの天候不順により外出動機が大きく減退したこともあって、消費マインドはほぼ横ばいの圏内での推移となりました。

食品業界におきましては、天候不順により各種農産物の産地が被害を受ける中、消費者の国産志向に因るため、各社は原材料の調達安定化に努めております。また、消費者の間で節約志向が強まりつつあることから、低価格の商品・サービスを再び強化する企業が増えております。

このような状況下、当社グループにおきましては、外食事業では次世代業態構築と既存業態整理を並行して推進しました。また食料品販売事業は、量販店での拡販イベントを増やし、主力商品である内製品の冷凍餃子の拡販に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高が125億16百万円、営業利益が2億73百万円、経常利益が2億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### ①外食事業

外食事業におきましては、新たな価値を創造・提供すべく、新業態ならびに新商品の開発加速を図りました。また、既存業態では広告・販促費の増加を抑えつつ、新メニュー発売により、店頭セールスに対する当社グループからの食材売上の比率向上を通して当社グループの売上増に取り組みました。

なお、当第2四半期連結累計期間におきましては、加盟店13店舗（うち海外4店舗）、直営店8店舗の計21店舗を出店した一方、加盟店12店舗（うち海外3店舗）、直営店2店舗の計14店舗を閉店した結果、当第2四半期末店舗数は、加盟店395店舗（うち海外30店舗）、直営店64店舗の計459店舗（うち海外30店舗）となっております。

また、連結決算開始に伴い子会社の運営店舗（直営店）5店舗を含めて記載しております。

以上の結果、外食事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は、65億24百万円となりました。

なお、外食事業の店舗数の内訳は以下のとおりであります。

業態名	前事業年度末 (平成28年3月31日)			当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)		
	直営店	加盟店	計	直営店	加盟店	計
大阪王将	21	336	357	27	330	357
ラーメン	15	28	43	18	29	47
よってこや	3	16	19	3	16	19
太陽のトマト麺	9	12	21	9	13	22
その他ラーメン	3	0	3	6	0	6
その他業態	12	6	18	19	6	25
カフェ	5	4	9	6	4	10
その他業態	7	2	9	13	2	15
海外	0	29	29	0	30	30
合計	48	399	447	64	395	459

(注) 前事業年度末（平成28年3月31日）店舗数については、イトアンド株式会社（単体）の店舗数であります。

## ②食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、商品開発と営業間の連携強化により新商品開発を加速しました。また、量販各社店頭での拡販イベントを強化し主力商品であり内製品でもある「羽根つき餃子」の販路拡大と既存得意先への出荷量増を推し進めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は、59億98百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債および純資産の状況

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は、125億51百万円となりました。

流動資産は、61億47百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金10億33百万円、売掛金36億20百万円です。

固定資産は、64億3百万円となりました。その主な内訳は、建物26億26百万円、土地10億89百万円です。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の残高は、78億90百万円となりました。

流動負債は、64億44百万円となりました。その主な内訳は、買掛金22億17百万円、未払金15億26百万円、短期借入金12億92百万円です。

固定負債は、14億45百万円となりました。その主な内訳は、役員退職慰労引当金3億51百万円、長期借入金2億40百万円です。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は、46億60百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金27億22百万円です。

この結果、自己資本比率は37.1%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、10億33百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は10百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億52百万円の計上、減価償却費3億44百万円の計上、売上債権の減少2億40百万円などが増加の要因であり、たな卸資産の増加4億17百万円、法人税等の支払2億39百万円などが減少の要因です。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9億69百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億77百万円、差入保証金の差入れによる支出1億48百万円などによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は7億40百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加6億42百万円、長期借入金による収入4億6百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月5日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」にて公表しました業績予想に変更はありません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備および構築物については、改正後の法人税法に規定する減価償却方法によっております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成28年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,033,552
売掛金	3,620,382
商品及び製品	789,209
原材料及び貯蔵品	227,060
前払費用	307,879
繰延税金資産	83,021
その他	86,826
流動資産合計	6,147,931
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	2,626,053
土地	1,089,772
その他（純額）	1,106,470
有形固定資産合計	4,822,297
無形固定資産	
のれん	72,095
その他	174,405
無形固定資産合計	246,501
投資その他の資産	
投資有価証券	140,214
差入保証金	785,637
繰延税金資産	153,836
その他	289,852
貸倒引当金	△34,680
投資その他の資産合計	1,334,860
固定資産合計	6,403,659
資産合計	12,551,591

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成28年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	2,217,985
短期借入金	1,292,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000
未払金	1,526,371
未払費用	337,634
未払法人税等	123,564
賞与引当金	156,138
役員賞与引当金	13,136
売上割戻引当金	600,807
その他	117,209
流動負債合計	6,444,848
固定負債	
長期借入金	240,000
退職給付に係る負債	95,835
役員退職慰労引当金	351,680
その他	758,337
固定負債合計	1,445,853
負債合計	7,890,701
純資産の部	
株主資本	
資本金	959,022
資本剰余金	891,458
利益剰余金	2,722,071
自己株式	△442
株主資本合計	4,572,109
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	56,998
為替換算調整勘定	24,591
その他の包括利益累計額合計	81,590
新株予約権	1,634
非支配株主持分	5,556
純資産合計	4,660,890
負債純資産合計	12,551,591



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	12,516,852
売上原価	7,592,432
売上総利益	4,924,420
販売費及び一般管理費	4,651,416
営業利益	273,003
営業外収益	
受取利息	265
受取配当金	65
受取手数料	1,831
その他	1,090
営業外収益合計	3,252
営業外費用	
支払利息	3,759
為替差損	872
持分法による投資損失	23,010
その他	571
営業外費用合計	28,214
経常利益	248,042
特別損失	
固定資産除売却損	17,571
店舗閉鎖損失	31,593
減損損失	37,795
その他	8,191
特別損失合計	95,152
税金等調整前四半期純利益	152,889
法人税等	94,212
四半期純利益	58,676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	58,676
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,197
持分法適用会社に対する持分相当額	2,986
その他の包括利益合計	11,183
四半期包括利益	69,860
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	71,064
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,204

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	152,889
減価償却費	344,109
のれん償却額	8,525
持分法による投資損益 (△は益)	23,010
減損損失	37,795
店舗閉鎖損失	31,593
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,655
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,590
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,588
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,073
売上割戻引当金の増減額	△22,943
受取利息及び受取配当金	△330
支払利息	3,759
為替差損益 (△は益)	872
固定資産除売却損益 (△は益)	17,571
売上債権の増減額 (△は増加)	240,503
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△417,475
前払費用の増減額 (△は増加)	△158,641
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,073
未払費用の増減額 (△は減少)	9,818
未払金の増減額 (△は減少)	△125,363
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△16,827
預り保証金の増減額 (△は減少)	49,550
その他	3,061
小計	253,314
利息及び配当金の受取額	329
利息の支払額	△3,966
法人税等の支払額	△239,350
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,326
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△777,912
有形固定資産の売却による収入	2,514
無形固定資産の取得による支出	△9,376
投資有価証券の取得による支出	△315
差入保証金の差入による支出	△148,564
差入保証金の回収による収入	12,424
その他	△47,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△969,130

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成28年4月1日  
至 平成28年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	642,000
長期借入れによる収入	406,000
長期借入金の返済による支出	△260,602
配当金の支払額	△33,247
リース債務の返済による支出	△13,647
財務活動によるキャッシュ・フロー	740,503
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△218,300
現金及び現金同等物の期首残高	1,251,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,033,552

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,524,158	5,992,693	12,516,852	12,516,852	—	12,516,852
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	5,341	5,341	5,341	△5,341	—
計	6,524,158	5,998,034	12,522,193	12,522,193	△5,341	12,516,852
セグメント利益	159,318	255,660	414,979	414,979	△141,975	273,003

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

(2) セグメント利益の調整額△141,975千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗設備について、37,795千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。